

大阪工大通信

およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website ▶ <https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.293

2025年 1月

学園祭を 開催しました!



CONTENTS

P2
情報科学部 グランプリ賞受賞!
第四回テクノロジー×空気=クリーン~あなたのアイデアで~ (ほか)

P3
2025年秋の交換留学プレエントリー締切迫る (ほか)

P4~5
学園祭報告 城北祭・茶屋町祭・北山祭

P6
淀川クリーンキャンペーン実施 (ほか)

P7
奨学金関連記事 (ほか)

P8
私の学生時代を振り返って (ほか)



サイエンスアゴラ2024に サイエンスアラカルトエコールプロジェクトが参加しました!

10月26日、27日の2日間、東京・お台場にてJST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)主催のイベント「サイエンスアゴラ2024」に工学部応用化学科学学生プロジェクト「サイエンスアラカルトエコールプロジェクト」が参加しました。同プロジェクトは、サイエンスアゴラに10年以上連続で参加しており、小中学生向けの理科実験を通じて理科教育の啓発活動を行っています。

今回は、「燃料電池でエネルギーの未来について学ぼう」をテーマに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの1つとして、二酸化炭素(CO₂)を排出しない近未来のエネルギー源として注目されている水素(H₂)について知識を深めてもらえるよう企画しました。

学生は、それぞれの個性を発揮しながら、学年の枠を超え、協力し合い、企画から運営まで実施することで社会人基礎力を醸成することができました。



大阪市北区主催の 「夢キタ万博2024」に出展しました!

11月9日、OIT 梅田 esportsプロジェクトとロボティクス&デザイン工学部システムデザイン工学科・井上明教授、同研究室所属のゼミ生が、大阪市北区主催の「夢キタ万博2024」のイベントの一つ「KITAKU WORK WORK EXPO 2024」に出展しました。

会場には50を超えるパビリオンが集まり、本学は、「VRを使ったフィジカルeスポーツに挑戦!」と題してブースを展開しました。来場者はVR卓球を通じて身体を使った新たなeスポーツ体験を楽しむとともに、梅田キャンパスを3次元仮想空間で再現した「OIT梅田メタバースキャンパス」にも触れ、技術と楽しさが融合した貴重な体験をしました。



夢キタ万博2024



VRを使ったフィジカルeスポーツに挑戦!

OIT梅田メタバースキャンパスは、以下HPからも体験いただけます。

<https://www.oit.ac.jp/rd/umdmaverse/index.html>



グランプリ賞受賞! 第四回テクノロジー×空気=クリーン~あなたのアイデアで~

情報科学部ネットワークデザイン学科・梶原准教授のサイバーヒューマンシステム研究室のチーム(赤松新一朗さん(4年)、上原勇次さん(4年)、大西もえさん(4年)、森晴希さん(3年)、田邊晴隆さん(1年))が、11月1日に東京で開催されたコンテスト“第四回テクノロジー×空気=クリーン~あなたのアイデアで~”の一般部門でグランプリ賞を受賞しました。このコンテストは、一般社団法人日本室内空気保健協会が主催し、環境由来で起こる健康被害者を減らし、誰一人取り残さない安全な空気の部屋で過ごすために社会全体(産官学市民)を繋げるということを目的としています。

本チームは「未来の暑さ対策 ~暑熱順化×IoT~」をテーマにIoT技術を用いて暑さに体を適応させ、高齢者の熱中症を防ぐウェアラブル端末の開発を提案しました。具体的には、高齢者が暑熱順化できるように装着者の体温、心拍数、発汗量の変化を記録し、エアコンの自動操作を行う、また、高齢者に水分補給などを通知するという機能です。

これらのアイデアが空気質を改善する新しい視点であることが評価されグランプリ受賞につながりました。





知的財産学部の資格取得とその目標

例年、11月初旬に知的財産学部の一部の学生が目指している弁理士試験の最終合格発表があります。

弁理士試験は、5月に60問5択式3時間30分の一次試験、7月上旬に二次試験論文式試験(特許法実用新案法2時間、意匠法1時間、商標法1時間)、7月下旬に二次試験選択科目試験(技術系または法律系科目1科目2時間)、10月に口述試験があり、すべての試験を突破して最終合格となります。一次試験と二次試験を突破すると、翌年、翌々年は一部試験免除となる優遇措置がありますが、いまだに最終合格率は8パーセント程度という超難関国家試験です。

2024年は、11月12日に最終発表がありました。今年の在校生は、2年生が一次試験を突破、二次試験の論文式試験を突破し、残すところ二次試験の選択科目試験と口述試験というところまでたどり着いています。一方、彼の先輩にあたる卒業生(卒業後も毎週土曜日の勉強会には出てきて勉強を継続していたOBです)が、入学から数えて11年目となりますが、今年、ようやく最終合格を果たしました。

知的財産の世界の真のプロフェッショナルになる知的財産学部のOB・在校生がじわじわと増えつつあります。弁理士会に「工大生大派閥」ができることを目指して、教員・学生・OB、が大学の勉強会で顔を合わせて学び、磨き合い、頑張っています。



図書館でビブリオバトル開催 — 全国大学ビブリオバトル 2024関西Bブロック予選会 —

10月19日、「全国大学ビブリオバトル2024関西Bブロック予選会」を図書館大宮本館「ラーニングコモンズ6(5号館6階)」で開催しました。工大生と他大学から出場した7名のバトル(発表者)が推し本のプレゼンを繰り広げ、観戦した工大生、教職員と開催中の城北祭に来場した高校生や一般の方々を魅了しました。

選考基準は「一番読みたくなった本」です。観戦者の投票で3名が同点で並ぶ激戦を決選投票で勝ち抜いたのは、岩崎哉汰さん(知的財産学部2年)が発表した『夏と花火と私の死体』(乙一著、集英社、2000年初版発行)でした。

岩崎さんは11月4日に梅田キャンパスで開催された関西Bブロック決戦(主催団体:本学知的財産学部)に出場し、決選投票に進みましたが惜しくも全国大会出場の切符を手にするには叶いませんでした。



ビブリオバトル予選会で優勝した岩崎さん



2025年秋の交換留学 プレントリー締切迫る ～国際交流センター～

国際交流センターでは、2025年8～10月に留学を開始する長期交換留学希望者のプレントリーを1月末まで受け付けています。長期交換留学とは、専門科目の授業履修、語学学習(英語、韓国語、中国語)、研究/インターンシップを目的に、在学中に最長1年間、海外協定校などへ留学できる制度です。派遣先の授業料は基本的に免除!大学から渡航費の補助があり、条件を満たせば、日本学生支援機構(JASSO)奨学金が受給可能です。(月額6～10万円)

長期間海外に滞在し学ぶことで自分を大きく成長させ、コミュニケーション能力、課題発見力、適応力、自立心が身につきます。

プレントリーは、長期交換留学の応募前に、面談を行って留学先を決めるのが目的です。国際交流HPのフォームから行ってください。

QRコード参照先(国際交流HP・長期交換留学)

https://www.oit.ac.jp/japanese/international/program-exchange_outbound.html



フランス ボルドーの街並み(ボルドー大学交換留学派遣生提供)

城北祭

(大宮キャンパス)

報告

2024 10/18(Fri) ▶▶ 20(Sun) 9:00~17:00

テーマ

「ピース～We Are One～」 伊藤 碧海

城北祭実行委員会 委員長

たみ

第76回城北祭にお越しくださりありがとうございました。また、開催にあたり広告・物品協賛などさまざまな形でご支援いただいた卒業生、近隣の皆様や大学関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。おかげさまをもちまして、一時は大雨に見舞われたものの9,000人以上の方にお越しいただき盛況のうちに終えることができました。

今年度は建物の解体工事に伴い限られたスペースで模擬店や企画などを展開することとなりました。また、10月19日に予定していたキャンドルナイトは雨天のため翌20日に順延しました。城北祭の運営にどこまで影響が出るか不安でしたが、各課外活動団体のご協力のもと予想以上の方にご来場いただくとともに、平和と安寧の気持ちを表現することができました。テーマに沿った「ピース～We Are One～」な城北祭になったと思います。

来年は、更に充実した城北祭にすべく準備を進めてまいります。ますます発展していく城北祭にご期待ください。



茶屋町祭

(梅田キャンパス)

報告

2024 10/20(Sun) 10:00~16:00

ユナイト
テーマ 「UNITE」

茶屋町祭実行委員会 委員長

松本 豪太

このたびは第8回茶屋町祭にご来場いただきまして誠にありがとうございました！

今年度は、茶屋町祭実行委員会と梅田キャンパスの課外活動団体が、茶屋町の地域の皆様と積極的に交流を持ち、一致団結して良い茶屋町祭を作っていくという思いを「UNITE」というテーマに込め、開催しました。課外活動団体等による企画・展示の他、茶屋町祭では初めてとなるキッチンカーで来場者の皆様にクレープを楽しんでいただき、大盛況のうちに終えることができました。

これもひとえに、ご来場くださった方々および関係者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

第9回茶屋町祭は更に進化した茶屋町祭にしていきますので、ご期待ください！！



北山祭

(枚方キャンパス)

報告

2024 11/3(Sun 祝) 10:00~17:00

テーマ 「華譚(かだん)」

北山祭実行委員会 委員長

岡本 雄也

第27回北山祭にご来場の皆様、そして開催にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。今年度の北山祭は「華譚(かだん)」をテーマに掲げ、華やかな物語が織りなすような祭典を目指して実行委員会一丸となって取り組みました。

今年度のステージ企画では、吉本興業の芸人によるお笑いライブや迫力満点のヒーローショー、課外活動団体によるパフォーマンス、ビンゴ大会に加え、模擬店やフリーマーケットなど、さまざまな催し物を提供することができました。更に、新たな試みとして移動動物園も開催し、子供から大人まで幅広い世代の方々が楽しめる企画となりました！

来年度の第28回北山祭は、更に進化した企画をお届けできるよう準備を進めてまいります。また、より多くの方々に楽しんでいただけるよう実行委員会一同、引き続き努力してまいりますので、来年度もぜひご期待ください！

これからも北山祭をよろしくお願いたします！



2024年度

工学祭・芸能祭・音楽祭 表彰団体一覧



工学祭

賞	表彰団体
学長賞	応用化学研究部
後援会会長賞	環境工学研究部
校友会会長賞	電子工学研究部

芸能祭

賞	表彰団体
学長賞	書道部
後援会会長賞	鉄道研究部
校友会会長賞	茶道部

音楽祭

賞	表彰団体
学長賞	ウインドアンサンブル



鉄道研究部によるパラレル展示



書道部の作品



ウインドアンサンブルの演奏



模擬店



北海道拳法部による演武

2024年度

茶屋町祭 表彰団体一覧



賞	表彰団体
学長賞	OIT 梅田ボランティア部
学部長賞Ⅰ	梅田ロボットプログラミング部
学部長賞Ⅱ	OIT マケット (模型) サークル
大阪工業大学 校友会会長賞	デザイン思考実践研究部
後援会会長賞	ピアノの会
RDC 長賞 (同率 1 位)	有光工業株式会社チーム
RDC 長賞 (同率 1 位)	東邦インターナショナル株式会社チーム
RDC 長賞 (3 位)	東阪電子機器株式会社チーム



第8回茶屋町祭大成功!



ピアノの会による
キャンドルナイトコンサート



キッチンカーにてクレープ販売



OIT 梅田ボランティア部による緑日



OIT マケット (模型) サークル
による模型展示



梅田ロボットプログラミング部による
サッカーロボット対決



OIT 梅田 esports プロジェクトによる
esports 体験会



閉祭式表彰

2024年度

Oh!ITカーニバル 表彰一覧



賞	表彰団体
学長賞	神経模倣システム研究室 (奥野准教授)
学部長賞	メディアインタラクション研究室 (大井講師)
後援会会長賞	Visual Computing 研究室 (村木准教授)
校友会会長賞	経営システム研究室 (椎原教授)
イノベーション大賞	通信方式研究室 (山内教授)



移動動物園



Oh!ITカーニバル



模擬店



ストリートダンス部



ビンゴ大会



ジャグリングクラブ



被災地に思いを込めて キャンドルナイトを開催

10月20日、大宮キャンパスでは「OITキャンドルナイト」を開催しました。

毎年、学園祭に合わせて開催している本イベントは今年で3目を迎えました。今回のテーマは「追悼と願い」で、元日に発生した能登半島地震の犠牲者への鎮魂や、被災地の日も早い復興を願う気持ちを込めています。

キャンドルナイト実行委員会の学生が主体となって取り組んだメインキャンドルは、石川県輪島市の白米千枚田で毎年秋から冬にかけて実施されていたイルミネーションイベント「輪島・白米千枚田あぜのきらめき」から着想を得ています。アクリル板とカップを使って階段状の土台を作り、そこへろうソクを模したLEDキャンドルを配置して幻想的にきらめく棚田を表現しました。制作した学生たちは「装飾をあえて抑えることで見せ方にこだわりました」と話してくれました。また、アクリル板はコロナ禍の飛沫防止用に使用していたもので、リサイクルすることで環境にも配慮しています。

大小さまざまなキャンドルが揺らめきながら光り、幻想的な時間となりました。



キャンドル点灯時の上空写真。左が白米千枚田を表現した作品。



大阪万博共創チャレンジ「TEAM EXPO2025」プログラムの「淀川クリーンキャンペーン」を実施しました

11月16日、大阪万博共創チャレンジ「TEAM EXPO2025」プログラムに登録している活動で、淀川橋梁(通称:赤川鉄橋)付近から本学河川敷グラウンド付近の清掃活動を行う「淀川クリーンキャンペーン」を実施しました。

「TEAM EXPO2025」プログラムとは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために、自らが主体となって未来に向けて行動を起こしている、または行動を起こそうとしているチームの活動のことで、本学の「淀川クリーンキャンペーン」の活動も本学が共創パートナーとして登録する活動のなかのひとつです。

淀川河川敷を清掃活動して水都大阪のシンボルである淀川を美しく保ち次世代に繋ぐことを目的とし、本学の城北祭実行委員会、文化会本部と旭区役所が共同で実施(協賛:大阪城北ロータリークラブ)し、本学学生・教職員、大阪工業大学スポーツ教室の子供たちと保護者、近隣にお住まいの方、303人が参加しました。



学生フォーミュラプロジェクトが「第22回学生フォーミュラ日本大会2024」にて最軽量化賞(ICV)を受賞

ものづくりセンターに拠点をおく学生フォーミュラプロジェクト「TEAM REGALIA」が、9月9日から14日に愛知県常滑市で開催された「第22回学生フォーミュラ日本大会2024」に出場しました。大会では、コストやデザイン、製造販売に関するプレゼンテーションを評価する静的審査と、マシンの走行タイムや燃費効率などを評価する動的審査が行われました。TEAM REGALIAは、車体重量176.5kgと大会出場チーム中、最軽量の車体を完成させ、最軽量化賞(ICV)を受賞しました。

動的審査では、厳しい安全検査をクリアし、アクセラレーションやスキッドパッド、オートクロスなどの種目に挑戦しました。特にスキッドパッドでは、5.126秒という好成績を収めました。最終順位は41位でしたが、すべての種目に出場し、チームの高いチームワークと技術力を示しました。1年生・2年生主体の若いチームを率いたリーダーの雑賀理矩さん(工学部機械工学科2年)は「来年はもっと成長して、今年以上の結果を出せるように頑張ります」と意気込みを語りました。



ビット内の様子



中部国際空港(セントレア)近くの会場にて



フォーミュラカーで疾走!

民間奨学団体（大学推薦型）にかかる推薦希望者の事前登録について

多くの企業や公益法人等（以下、「民間奨学団体」という）では、広く社会に貢献する人材育成を目的に奨学事業を実施しています。この奨学金は民間奨学団体が大学を通じて一定の推薦枠を設けて、奨学生を募集するものです。原則として給付制（返還不要）で、大学からの推薦がなければ応募出来ません。民間奨学団体の応募に相応しい人物を学内で選考したうえで、各奨学団体に推薦します。

2025年度の推薦希望者の事前登録の受付は、各キャンパスの奨学金担当部署よりポータル・キャビネット一覧にてお知らせします。希望者は詳細を確認し、登録手続きを行ってください。

民間奨学団体の採用枠・推薦枠は非常に限られていますので、登録後、全員が奨学金に推薦・採用されるわけではありません。これらを理解したうえで、登録してください。

【奨学金担当部署】

大宮キャンパス：厚生課

梅田キャンパス：ロボティクス&デザイン工学部事務室

枚方キャンパス：情報科学部事務室



公益財団法人小野奨学会より本学学生が表彰されました

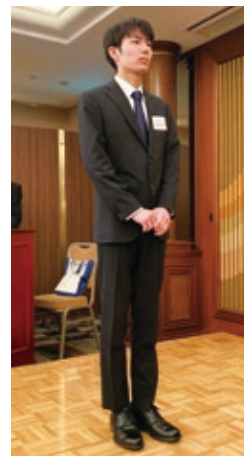
10月11日、公益財団法人小野奨学会による「令和5年度奨学生優秀者表彰式」がANAクラウンプラザホテル大阪（大阪市北区）で行われ、田中瑛士さん（ロボティクス&デザイン工学部ロボット工学科3年）と、佐藤虎太郎さん（知的財産研究科知的財産専攻専門職学位課程1年・認定当時は学部生）が学業成績優秀者として表彰されました。

小野奨学会では、前年の学業成績が優秀であった学生および課外活動等で特筆すべき活動成果のあった学生を、奨学生の励みの一端として表彰しています。令和5年度は、約750人の対象奨学生の中から成績優秀者として30人が認定され、本学から田中さんと佐藤さん2人が選ばれました。

今回表彰を受けた学生の更なる活躍に期待します。



表彰を受ける田中さん



佐藤さん



外国人留学生在が関目東小学校を訪問し、児童たちと国際交流

10月17日、本学の外国人留学生4名（中国、インドネシア、ネパール）が大阪市立関目東小学校を訪問し、2年生と5年生の2学年の児童と交流しました。この行事は同校の国際理解教育の一環として2022年から実施しており、今年で3回目を迎えます。

留学生は自己紹介を終えた後、各クラスに分かれ、校舎内探検や、講堂でのゲームを楽しみました。その後、教室で留学生が母国を紹介し、児童からの質問に丁寧に答えました。児童達は班ごとに事前に調べた日本の名所や特徴をクイズにして、交流会を盛り上げました。

本行事に参加したネパール出身のラムチャネマガルアニスさん（工学部建築学科1年）は、「日本の小学生がすごく元気で、好奇心旺盛で、たくさんの質問にびっくりしました。母国の小学校と異なることも多く、学ぶところがたくさんありました。とっても楽しかったです。」と話してくれました。無邪気な笑顔で接する児童に癒されたようで、留学生にとっても良い機会となりました。



自己紹介をする留学生たち



たくさんの質問を受ける
ミシェル オーダリーさん
（インドネシア・工学部生命工学科4年）

私の学生時代を
振り返って

工学部長(研究科長兼任) 森實 俊充

他の先生同様、最も影響を受けたのは研究室生活と研究なのだが、折角なのでそれ以外を考えてみた。で、思いついた言葉が、「ビデオデッキとファミコンとバドミントンに研究室スキー」なんだこれは?仕方がない、きちんと説明しよう。

「ビデオデッキ」ビデオデッキを下宿先に持っている友は「神」だった。みんなよく集まった。当時レンタル料金は高額なのでお金を出し合って借りるのだ。それゆえ失敗は許されない。

「ファミコン」ファミコンを持っている友達「仏様」。友達は大学、なのになぜか私は彼の家。夢中になりすぎて試験をブッチ*してしまったのもいい思い出だ。

*ブッチする：本来すべきことを意図的に反故にすること[80年代に流行った死語]

「バドミントン」高校でレギュラーとるなら全員初心者バドミントン部!と邪な気持ちで始めたら合ったらしくインターハイの四国大会に出場。大学時代も続けたスポーツ。当時の痩せた私は別人だ。

最後に「研究室スキー」青春18きっぷ片手に、研究室のみんなが眠い目擦って上野始発でスキー場。滑って戻って先生参加の夜ゼミに何事もなかったように参加する。交通費たったの2,260円。決行日は突然に!名付けて研究室ゲリラスキー。

今思うと色々無茶をした学生生活。でも、遊ぶことも大事だよというお話でした。



学生相談室
だより

最適なコーピング方法を知っていますか?

学生相談室カウンセラー 大谷 真弓

後期も終盤となり、そろそろ試験も始まる頃でしょうか。最終学年の人たちは、実験や研究の総まとめの時期ですね。ストレスもたまりやすいのではないのでしょうか?皆さんそれぞれ、ストレス対策されていると思いますが「コーピング」という言葉を知っていると、自分にとってより適した方法がさらに見つかるかもしれません。

「コーピング」とは、ストレスフルな状況に直面した際に、ストレスを軽減するための方法や行動を選択し、実行することです。コーピングには色々な種類があります。例えば、問題そのものを解決するための具体的な行動を取る「問題焦点型コーピング」。ストレスの元となるストレス源への考え方や感じ方を変えようとする「情動焦点型コーピング」。好きなことや、リラックス効果のあることを行う「ストレス解消型コーピング」などが挙げられます。

「コーピング」で検索してみると、たくさんの具体的な方法が出てきます。Aさんに有効だったコーピングがBさんにはあまり効かなかった、というように、今の自分の状況に合ったコーピングはそれぞれ異なります。ぜひ、現在の自分にとって最適なコーピング方法を見つけ、実践してみてください。皆さんが現状をうまく乗り切られることを、心から応援しています。

常翔ウェルフェアニュース

JoshoWelfareNews

大宮キャンパス 8号館5階 レストラン・チェルカトーレ

8号館5階レストラン・チェルカトーレは2018年4月にリニューアルオープンし、店内はカフェ仕様で明るくキレイになり、皆様に気軽にお越しいただける落ち着いた居心地の良いレストランです。

メニューはイタリアの食材を使った大人気の「パスタランチ」、管理栄養士監修の健康バランスを考えた和食中心の「幕の内御膳」、ボリューム満点の「ガーリックライス」、ワンプレートランチやスイーツ、コーヒーといった軽食など多数取り揃えています。

当店で今、人気があるのがガーリックライスです。日替わりで豚バラ肉や鶏もも肉等を乗せ、さらにコロッケも付いたとにかくボリューム満点のメニューとなっています。

ぜひ一度ご賞味ください。

※営業時間：11時~14時(13時30分ラストオーダー)



工大流就職支援 68

~就職NEWS~



情報交換会の様子

10月21日、「2024年度インターンシッププログラム報告会」を開催しました。対面形式での実施は2019年度以来で、井上学長ご臨席のもと、インターンシップの履修生、受入企業を合わせて約200人が一堂に会しました。総括報告会では、インターンシップに参加した学生を代表して3人が、実習内容、大学で学んだことが社会でどのように活かされているかなどの体験を報告しました。各実習生の受入企業の皆様からは、実習に対して真剣に取り組む姿勢を評価いただくなど、工大生に対して期待を寄せていただきました。また、情報交換会では受入企業と参加学生が親睦を深めました。本授業で行っているインターンシップは、「就職に『超』強い工大」の特色の一つです。